

津波 ハザードマップ

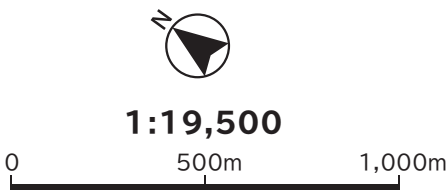
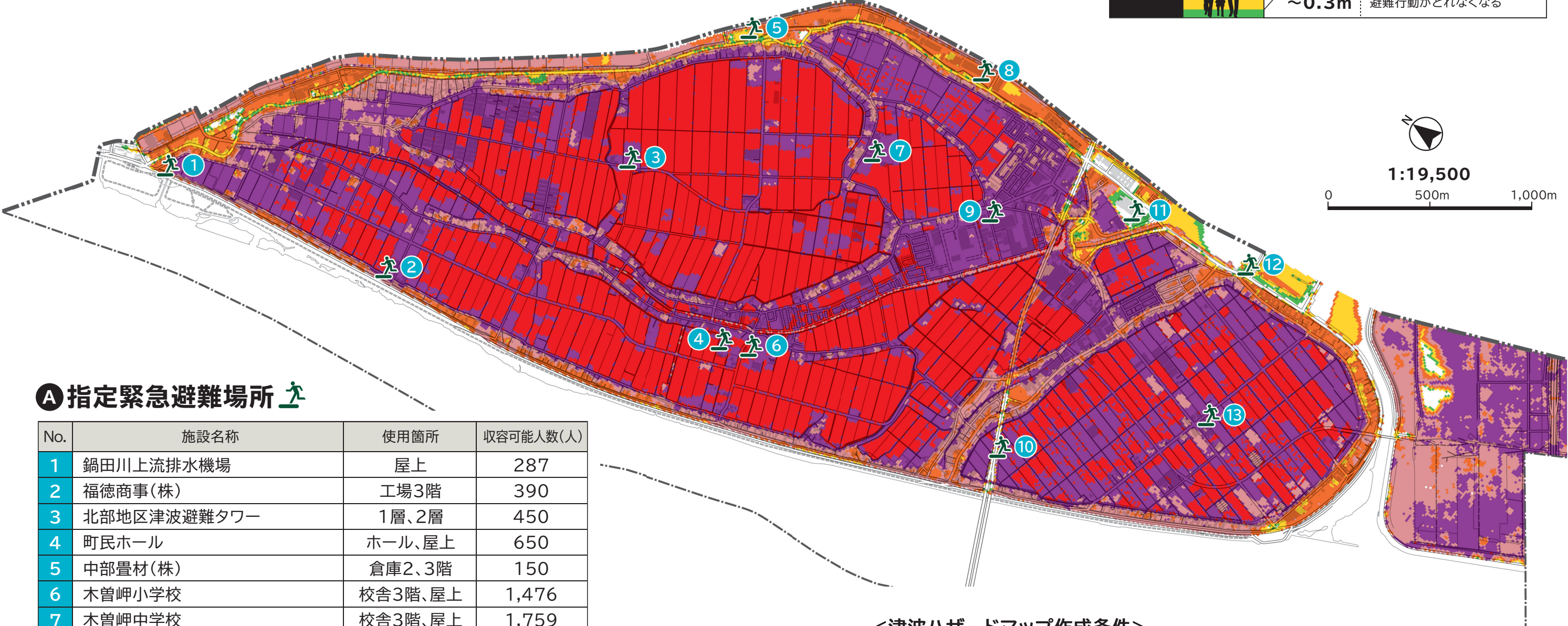
命を守るため緊急的に避難する場所

A

木造の建物には逃げない！
鉄筋コンクリートなど
少しでも丈夫な建物へ

浸水深の目安

	浸水深	浸水の目安
	～5.0m	2階が水没する
	～4.0m	
	～3.0m	木造家屋のほとんどが全壊する
	～2.0m	木造家屋の半数が全壊する
	～1.0m	津波に巻き込まれると ほとんどの人が亡くなる
	～0.3m	避難行動がとれなくなる



A 指定緊急避難場所

No.	施設名称	使用箇所	収容可能人数(人)
1	鍋田川上流排水機場	屋上	287
2	福德商事(株)	工場3階	390
3	北部地区津波避難タワー	1層、2層	450
4	町民ホール	ホール、屋上	650
5	中部置材(株)	倉庫2、3階	150
6	木曽岬小学校	校舎3階、屋上	1,476
7	木曽岬中学校	校舎3階、屋上	1,759
8	石田鉄工(株)	事務所3階、屋上	320
9	はごろもフーズ(株)木曽岬プラント	倉庫3階	400
10	防災センター	2階、屋上	256
11	浅井工業(株)	事務所2階	300
12	鍋田川下流排水機場	屋上	335
13	南部地区津波避難タワー	1層、2層	100

<津波ハザードマップ作成条件>

元資料	三重県公表 地震被害想定調査(平成26年3月) ※数ある可能性の中からいくつかを選出。次に起こる地震が想定どおりになるとは限らない。
地震想定	科学的に南海トラフで発生する可能性がある「最大クラス」。木曽岬町は震度7。
津波の発生条件	地震に伴う津波が朔望平均満潮位(T.P+1.2m)に発生。
堤防破堤の想定	盛土構造物については75%沈下(25%残)させた上で、沈下後の構造物を津波が越流した時点で破堤するものとする。